

第6回 全日本ジュニアライフセービング・プール競技会 全日本ユースライフセービング・プール競技会 チーム/選手 参加募集要項	Jr/Yh
	チーム1 次要項

第6回全日本ジュニア/ユースライフセービング・プール競技会
実行委員会

- ◆日程 2018年 12月15日(土)～16日(日)
- ◆会場 世田谷区立玉川中学校温水プール(短水路25mプール) 世田谷区中町4-21-1
- ◆主催 一般財団法人日本ライフセービング協会
- ◆後援 世田谷区、世田谷区教育委員会、公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団
- ◆助成 公益財団法人スポーツ安全協会 スポーツ普及奨励助成事業
- ◆協力 世田谷スイミングアカデミー、国士舘大学LSC、成城学園LSC、日本体育大学LSC、日本大学SLSC

◆競技種目

ジュニア(小学生)競技を12月15日(土)に、ユース(中学生)競技を12月16日(日)に実施します。

◇個人種目

1. 50m 障害物スイム 小学生 3.4年(女子)
2. 50m 障害物スイム 小学生 3.4年(男子)
3. 50m 障害物スイム 小学生 5.6年(女子)
4. 50m 障害物スイム 小学生 5.6年(男子)
5. 50m レスキューチューブトウ 小学生 3.4年(女子)
6. 50m レスキューチューブトウ 小学生 3.4年(男子)
7. 50m レスキューチューブトウ 小学生 5.6年(女子)
8. 50m レスキューチューブトウ 小学生 5.6年(男子)
9. 100m 障害物スイム 中学生(女子)
10. 100m 障害物スイム 中学生(男子)
11. 100m 障害物スイム 高校生(女子)
12. 100m 障害物スイム 高校生(男子)
13. 100m マネキントウ・ウィズフィン 中学生(女子)
14. 100m マネキントウ・ウィズフィン 中学生(男子)
15. 100m マネキントウ・ウィズフィン 高校生(女子)
16. 100m マネキントウ・ウィズフィン 高校生(男子)
17. 50m マネキンキャリアー 中学生(女子)
18. 50m マネキンキャリアー 中学生(男子)
19. 50m マネキンキャリアー 高校生(女子)
20. 50m マネキンキャリアー 高校生(男子)

◇チーム種目

21. 4 × 50m 障害物リレー (小学生) ※複数可
22. 4 × 25m メドレーリレー 中学生(女子) ※1チーム1エントリー

23. 4 × 25m メドレーリレー 中学生 (男子) ※1 チーム1 エントリー
24. 4 × 25m メドレーリレー 高校生 (女子) ※1 チーム1 エントリー
25. 4 × 25m メドレーリレー 高校生 (男子) ※1 チーム1 エントリー

- ▶ 全種目において、タイム決勝で行う。
- ▶ ジュニア (小学生) のチーム種目は、男女混合を可とする。
- ▶ チーム種目のうち「4×50m 障害物リレー (小学生)」のみ1クラブで複数組の出場を可とする。但し、同一選手が複数組に出場することは不可。

◆競技方法

- ① 競技は日本ライフセービング協会「ライフセービング競技規則短水路プール競技種目 (2018年版)」及び「ライフセービング競技規則 (2018年版)」に則り、本大会競技規程により実施する。
- ② 個人種目、チーム種目を実施する。
- ③ 個人種目のエントリーは、選手1名につき2種目までとする (チーム種目は含まない)。
- ④ 全種目において、タイム決勝で行う。
- ⑤ 男女ともに以下の区分に分けて行います。

【ジュニア】12月15日 (土) 実施

1. 小学生 3.4年 (女子)
2. 小学生 3.4年 (男子)
3. 小学生 5.6年 (女子)
4. 小学生 5.6年 (男子)

【ユース】12月16日 (日) 実施

5. 中学生 (女子)
6. 中学生 (男子)
7. 高校生 (女子) ※または同様の年齢に達していること
8. 高校生 (男子) ※または同様の年齢に達していること

◆タイムテーブル

別紙「タイムテーブル」参照。エントリー集計後、詳細は2次要項でお知らせします。

◆認定審判員の選出について (本大会に選手登録をしていない方)

他の公式競技会と同様に、各チームの参加人数に応じた認定審判員の選出をお願いいたします。大会運営を円滑にするための導入措置となります。ご理解とご協力のほどお願いいたします。詳細は、大会参加規程をご確認ください。

◆表彰

競技種目の上位1位から8位を入賞とします。また、今大会ではスポーツ安全協会スポーツ普及奨励助成により、1位から3位はメダルを授与します (次回は未定)。なお、チーム総合表彰は行いません。

◆参加費

申込締切日までにお振込みをお願いいたします。 振込締切; 2018年11月15日 (木)

【ジュニア】

◇小学生 3,000円/人

【ユース】

◇中学生 3,000円/人

◇高校生 3,000 円/人

申込締切後であっても、エントリーミスによる出場種目の変更が可能です。
ただし、申込締切時にエントリーされている（選手登録している）方のみ対象とし、新たな選手のエントリーは認められません。

また、変更手数料として、1つの変更に付き、3,000 円の手数料を頂戴いたします。振込先は参加費と同様の口座です。期限内に必ず振込下さい。（小学生/中学生/高校生 一律共通）
期限内に変更手数料の振込のない場合は、変更を受付ません。

例： 種目を1つ変更=+3,000 円 種目を2つ変更=+6,000 円

◆競技会参加とライフセービング資格連動のご案内

ライフセーバーが集う競技会としての位置づけから、参加規程と資格所有（または推奨）を連動させています。

<小学生> 資格連動の規定はございません

<中学生> BLSおよびWS →【推奨】

<高校生> BLSおよびWS →【推奨】

※【推奨】の場合、資格を所有していなくても大会参加は可能です。

◆代表者会議

競技上の注意事項等について説明する代表者会議を下記に開催予定です。詳細は2次要項でお知らせします。

① 日時 12月15日（土） 10時（予定）

② 会場 プール入口ロビー（予定）

◆宿泊について

各チームにてご手配ください。

◆会場へのアクセスについて

会場に駐車場はございません。マイクロバスや大型バスの横付けなどはできません。

公共交通機関をご利用ください。

周辺は住宅街です。行き帰りの団体行動の際には、近隣住民の方々へのマナーを心がけてください。

◆2次要項について

エントリーチームには、大会開催日の1週間前を目処に2次要項をお送りします。

◆申込方法

- ① 日本ライフセービング協会の大会ホームページから関連書類をダウンロードしてください。
- ② チーム単位でお申し込みください。ただし、チーム単位で編成できない場合に限り、個人単位での申込みを可とします。提出物はデータファイル送信と書類郵送があります。
- ③ チーム種目のみに参加する選手も参加費は必要です。申込用紙で出場登録してください。
- ④ 申込締切

1. データ提出締切；2018年11月15日（木） 23：59受信分まで

● データ送信先 compe@jla.gr.jp

2. 郵送提出締切；2018年11月15日（木） 消印有効分まで

● 〒105-0013 東京都港区浜松町2-1-18 トップスビル 日本ライフセービング協会

提出方法提出書類等の概要		提出方法	提出期限(締切)
データ/書類	●チーム/選手エントリーデータ (チームエントリーフォームA・B・C)	メール	11月15日(木)23:59 受信分まで
	●同意書 (チームエントリーフォームD)	郵送	11月15日(木)当日消印有効
	●審判員申込	デジエントリー http://dgent.jp/	11月15日(木)23:59 受信分
	●(該当者のみ) エントリーミスによる出場種目の変更の 申込エクセルデータ	メール	エントリーリストのホームページ掲載時 ～ 11月29日(木)23:59 受信分
振込	●参加費の振込	三菱UFJ銀行 新橋支店 (433) 普通 5298841 ザイ)ニホンライフセービング グキョウカイ	11月15日(木)までに振込完了
	●(エントリーミスによる出場種目の変 更希望者のみ) 変更手数料	参加費振込先と同様の口座	11月29日(木)までに振込完了
注)	<p>※締切りを過ぎたものや書類の不備、上記の提出書類が揃っていない場合は、受け付けませんので、ご了承ください。</p> <p>※参加規程を満たしていない場合、参加費の未納等により、大会参加を受け付けない場合がありますのでご注意ください。</p> <p>※参加申し込み締切り日までに、会員登録および会費納入の手続きをされていない団体・個人会員の方(チーム選出の認定審判員も含む)は、本大会に出場できませんので、予めご了承下さい。</p>		

◆お問い合わせ先

日本ライフセービング協会事務局

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-1-18 トップスビル 1階 TEL : 03-3459-1445 FAX : 03-3459-1446

(以上)

全日本ジュニア ライフセービング・プール競技会 全日本ユース ライフセービング・プール競技会 【参加規程】

1 参加資格

選手の参加資格は下記を満たしている者、若しくは主催団体が特別に参加を認めた者でなければならない。

- 1-1 選手は、大会初日に各競技種目の区分またはそれと同様の年齢に達していること。
- 1-2 選手は、ライフセービングを志している者とする。
- 1-3 選手は、自分の出場する種目のルールを熟知していること。
- 1-4 選手は、ライフセービングの競技であることを理解し、まずは自分の安全を確保するため十分練習を積まなければならない。

2 チーム構成

- 2-1 チームは学校もしくは地域クラブなど、同じ団体に所属している選手により構成されていなければならない。
- 2-2 チーム内からは、必ず代表者を1名選出すること。

3 出場登録

- 3-1 選手は、あらかじめ所定の申込用紙（データ）を用い出場登録をしなければならない。なお、登録後の出場種目の変更および未登録種目への出場はできない。
- 3-2 出場登録は1名につき2種目までとする。ただし、チーム種目は除く。
- 3-3 選手個人の技術や体力などを充分考慮してエントリーすること（エントリー標準タイムは設定しないが、エントリー種目を完泳できること）。

4 ユニフォーム及び競技中の衣類

- 4-1 式典や表彰式および競技に適したユニフォーム（なければジャージ等）、水着、キャップを持たなければならない。ラッシュガードは、主催団体から特別な指示がない限り競技中、任意に着用することができる。
- 4-2 ユニフォーム、水着、キャップの性質、デザインが一般常識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる選手も競技に参加することができない。
- 4-3 キャップは、チーム全員が同様の色とパターンのキャップでなければならない。スタートの後に、キャップが取れたり、失ったりした場合、違反なしに競技が終了できていれば失格とはならない。
- 4-4 チームのユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュガードに競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従わなければならない。
- 4-5 キャップを準備していない選手にあっては、当協会が準備したキャップを着用して参加すること。

5 参加費

- 5-1 参加費は、参加申込締切日までに支払わなければならない。
- 5-2 変更手数料は、あらかじめ指定された期日までに支払わなければならない。
- 5-3 参加申込締め切り後の出場登録の取り消し、天候その他の理由により、大会のタイムスケジュール変更や、やむを得ず中止になった場合でも参加費は返還されない。

6 認定審判員の選出

- 6-1 参加チームは下記のとおり、認定審判員を選出しなければならない。
選手5～15名＝1名、同16～30名＝2名、同31名以上＝3名。
ただし、何かの理由で審判員が参加できなくなった場合は、必ず代替りの者を選出すること。
- 6-2 参加する審判員は、デジエントリーにより審判員参加申し込みを行うこと。
申込み締切日：2018年11月15日（木）23：59まで
- 6-3 選出する審判員は、C級認定審判員資格以上を取得し、選手として登録していないこと。
※申込締切期日までに審判員資格を取得していること。
※申込締切期日までに年会費の振込が完了していること。

- 6-4 選出する審判員は2日間を通じて参加できること。なお、2日間を通じて審判員を選出できないとき（やむを得ず参加日ごとに審判員が入れかわる場合）は、主催者は距離が近い方の1名分の交通費（上限¥5,000円）のみを支給する。
- 6-5 審判員参加に関わる交通費（上限5,000円）、昼食は別紙「審判員・スタッフ募集要項」に基づき主催者が負担する。なお、準一般会員の方には交通費の支給はないものとする。
- 6-6 選出する審判員は、BLS以上の資格を所有していることを推奨する。

7 競技器材

- 7-1 競技で使用する器材はライフセービング競技規則「器材の規格」の基準を満たさなければならない。ただし、利用する施設に合わせて障害物の仕様を変更する場合がある。
- 7-2 プール競技で使用するレスキューチューブ、マネキン、障害物は主催団体が用意するものとする。
- 7-3 主催団体は、競技者の競技器材の検査・再検査を競技前、競技中、競技終了後任意に行うことができる。競技器材が基準を満たしていない場合は、その競技者はその器材を使用できないか、または失格となる。

8 競技規則

- 8-1 「ライフセービング競技規則短水路プール競技種目（2018年版）」に則って行う。「ライフセービング競技規則短水路プール競技種目（2018年版）」に記述の無いものは「ライフセービング競技規則（2018年版）」に準ずる。ただし、利用する施設の都合により以下の点について競技規則の適用外とする：
 - ・スタート台はスタート側のみ設置し（折返し側には設置しない）、水面からスタート台上面までの高さを約30cm、スタート台上面の寸法を約40cm×約40cmとする。
 - ・スタート壁／折返し壁から5m及び10mのラインは、レーンロープのバサロマークもしくはプールサイドのカラーコーンによる目視ラインで代用する場合がある。
 - ・レーンの幅を約2mとする。
- 8-2 本大会のスタート方法については、1回制とする。
- 8-3 本大会において、フィニッシュジャッジは置かないものとする。

9 記録の扱い

- 9-1 今大会の各競技種目終了時における最も早い記録を短水路プール競技種目の日本記録として扱う。
- 9-2 男女混合が可能なジュニア（小学生）のチーム競技では、女子競技者のみからなるチームの記録は女子の記録として扱い、男子競技者のみ及び男女混合チームの記録は男子の記録として扱う。

10 その他

- 10-1 大会中に大会主催者および大会主催者が認めた者が撮影した写真、映像をライフセービングの広報の目的で使うことがある。
- 10-2 大会中に大会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることがある。
- 10-3 大会主催者への提出書類の記載事項に虚偽が認められた場合、大会への参加や記録が取り消されることがある。

(以上)